

なきごえ



1966

5

大阪市
天王寺動物園

「ゆりかもめ」

(別名みやこどり) 鷗目 かもめ科

ゆりかもめはシベリヤの東北部やカムチャッカで繁殖して、冬になると日本に渡って来ます。翼長 280cm ぐらいですから、うみねこよりはるかに小さく鳩ぐらいのかわいいかもめです。そのうに嘴と足が紅赤色なのが特に可れんな感じを高めています。

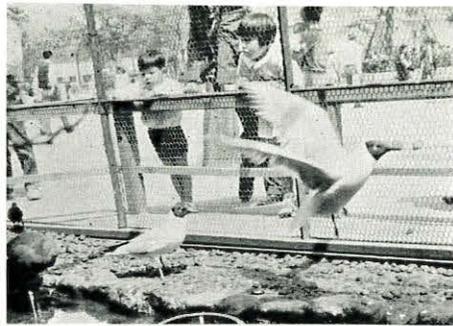
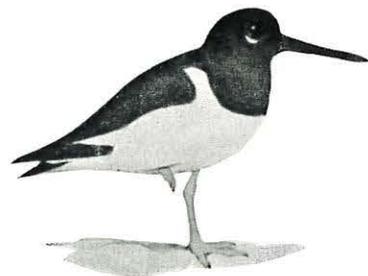
おそらくかもめの仲間では最も美しいのではないかと思います。

又4月中旬には頭部の毛がコーヒー褐色に変わるので、眼の周囲の輪隔が更に美しく現れ一段と色彩が加わります。

動物園で観察したところでは換毛は4月下旬までには完全に終るようです。

ゆりかもめは各地の海岸河口にうみねこと共にいるのを多く見うけられますが、うみねこよりも河川の上流の方にやって来ますし、湖や池にも姿を現わします。特に東京地区に多く渡来します。有名な隅田川のみやこどりとは実は本種のことです。可れんな姿を寄せ合わせて群っている情景には、昔東に降った人々に、しばし京の都のみやびやかさを回顧させるものがあったのでこの名が付けられたともいわれています。しかし、ほんものみやこどりはちどりの仲間で繁殖地はゆりかもめと同じシベリヤで、冬期に日本の海岸の干潟や砂浜に渡来します。下段にご本家みやこどりの姿をご紹介いたしておきます。

ゆりかもめは、大阪地方の河川にもやって来てはおりますが、その数は東京地区よりぐんと少ないようです。台風などが過ぎ去ったあとと弱りきったところを捕えられ、年間には1~2羽寄贈を受けます。



ゆりかもめ

動物園での飼育には比較的良好に馴れてくれるので、殆んど死亡するようなことはありません。昭和38年9月片翼を骨折したのが届けられたのですが、片翼切断の手術にもよく耐えて今でも元気に育っています。

餌は、あじの切身と生きたどじょうを与えていますが、なかなか食欲も旺盛です。最近の黒田長礼先生のお話ですが、今でも隅田川の近くの電線などに群がって止っている姿がよく見受けられるそうです。又芝浦の沖などにも群棲しているそうですが、海が荒れると皇居の外濠にも無数に飛んで来るそうです。

東京ではこの鳥を都民の鳥に選定して、長く保護することに務めています。

大阪にも隅田川に負けない淀川があり、皇居に匹敵する大阪城の濠があるのだから、ぜひ大群でやって来て私達の眼を楽しませて欲しいものだと思います。(松岡)

なきごえ 5月号 もくじ

動物の紹介 ゆりかもめ	2
飼い方シリーズ	3
動物園グラフ	4, 5
ペットを訪ねて	6
動物園ニュース	7

表紙の写真説明

「マレーぐま」

ぐまは放飼場の人気者で、おどけたしぐさでいつも子供達を喜ばせています。

うさぎの飼い方

動物園には種々の動物がたくさんいて皆さんの目を楽しませてくれますが、一般の家庭で、又、小学校幼稚園などで飼育できる動物もいるのです。

こゝで手近に飼えるうさぎの飼い方についてお知らせしましょう。

一般に多く飼育されている種類は白色在来種ですがその他チンチラ、ニュージーランドホワイト、アンゴラ種、それに数年前よりロップ種も飼育されるようになりました。

飼育箱は軒下など、なるべく湿気の少ない朝日あたりの所がよろしい。うさぎは寒さに割合強いが暑さに弱いから置く場所もよく考えて、やらなければなりません。夏は涼しく冬暖かくしてやることです。犬猫などの害敵を防ぐことも大切です。

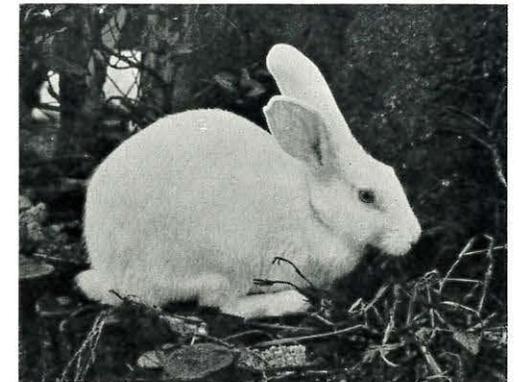
一頭飼いの場合は空箱を利用すると良いでしょう。間口60~90cm奥行60cm高さ45cm位あれば充分です。前面は金網を張り給餌器は直径15cm深さ5cm位の丸鉢がよいでしょう。

つぎに餌については草食性の動物ですから有毒な植物と刺戟性のある生姜、玉葱等を除けばなんでも与えてよいわけです。

ことに好食するものには、タンポポ、ハコベ、オオバコ、レンゲソウ、フジ、ナズナ、クローバー、とうもろこし、小麦大麦、豆腐粕、にんじん等があります。例えば春から夏にかけては野草を、冬には豆腐粕、乾草を主にして、副食として根菜類、麦を少量づつ与えます。

給餌は朝夕の2回与えます。その分量はうさぎによって異なりますが大体30分位で食べ終るのを限度として与えて下さい。

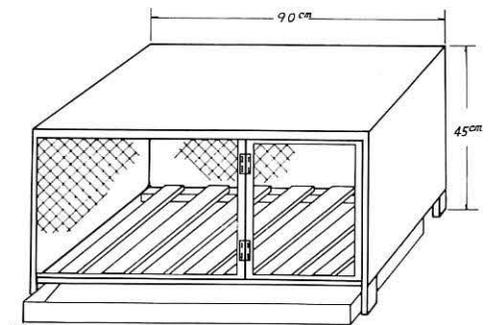
繁殖させる年令はおすは生後10ヶ月めすは8ヶ月位で交配させます。妊娠期間は32日です。交配後15日位になりましたら、わらを充分入れてやりまします。分娩前3~4日頃より出産準備の巣づくりをはじめます。仔うさぎの生産は春秋が一番よろ



しい。生れた仔うさぎは20日位で親の餌をたべはじめ生後40~60日位で親から離します。

飼育上一番注意しなければならない点は飼育箱をいつも清潔にし、乾燥させておくこと。雨や夜露に濡れた草は必ず乾燥させて、又腐敗した飼料等は与えないよう。以上の点を注意して飼えば仔うさぎを、襲う、こわいコクジウム症(下痢症)にかゝることなく容易に飼育できます。

(林 邦彦)



トタン製糞尿受け1頭用家うさぎの飼育箱

動物園 グラフ



↑ インドクジヤクとしろくじヤクのひながたくさん人工ふ化されかわいい姿をみせています。

→ おおさいちょう



↓ フンボルトペンギンが暖かい日ざしにひるねをしています。

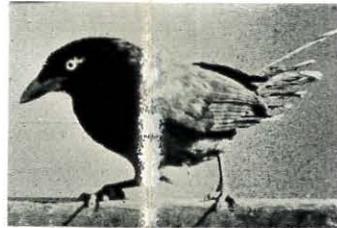


↑ ヨーロッパこうのとり夫婦は今年も5羽のひなをふ化させました。みんな元気に育っています。



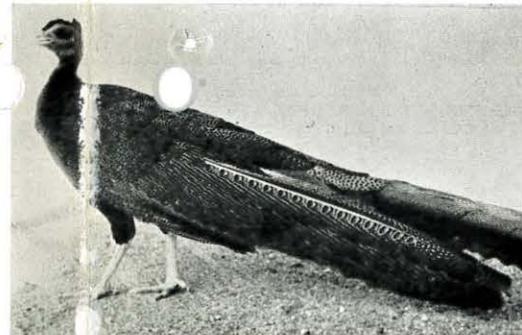
↑ かつしょくペリカン

愛鳥週間が5月10日から始まりまし
た。そこで、今月は、当園の代表的
な鳥たちを集めてみました。
当園には、現在アジア、アフリカは
云うに及ばず、雪と氷の国からやっ
てきたキングペンギンを始め 158種
918点の世界の鳥たちを集めていま
す。
遠い故郷を離れた彼らの日常はイサ
サカの影もなく、毎日元氣一杯の生
活を送っています。



↑ やまむすめたいわん特有のとりで
からすのなかまです。

↓ せいらん マレー半島にすんでいるきじのな
かまで美しい紋様の羽根が珍重されています。



しろむねおおは→
し南アメリカの
アマゾンにすむ
美しい鳥です。



← むくどり
巣からあやまっ
てころげおちた
ひなを育てまし
た。
よくなつて手
のひらにのほ
どになりました。
冬に大阪附近に
たくさんきます。



↑ こぶはくちょうの夫婦かわいひひながかえって親仔で初およ
ぎする日も近いでしょう。



← くまたか
この鳥を馴らして野う
さぎを捕えることも出
来ます。

↓ ちようせんはげわし
3年前韓国の京城動物園
から贈られてきました。



↑ あかやまどり
やまどりは最近と
くに少なくなり厳
重な保護が望まれ
ています。

4月 動物園日記

- 2 珍鳥こぶがも夫婦がお目見得しました。3月末に入園したチンパンジーは風邪や下痢がひどく、係員が一生懸命治療をしています。
- 3 さいのおすが下痢便をしていますので薬を与えています。
- 5 動物交換のえぞしか4頭が入園し、かわりに昨年8月生まれのピューマの赤ちゃんやライオンが出園しました。
- 6 南園の日本庭園池に、放し飼いされているこぶはくちょう夫婦が産卵の準備にかかります。
- 9 ぶちハイエナが血尿をだし弱っていましたが、薬を与え

- 11 チンパンジーの赤ちゃん、治療の結果ほとんどよくなりました。
- 13 あしかのめすが後肢を痛めてしまいました
- 14 こぶはくちょうが第1卵をうみました。
- 16 さいのおすが下痢をくり返して少し弱っています。
- 17 ヒマラヤ地方にすむ珍しいにじきじが今年も産卵を始めました。
- 18 インドクジヤクが産卵を始めました。
- 19 3月18日生れた4匹のはりねずみの赤ちゃんのうち、1匹が口の中に腫れものができ死にました。

- 20 チンパンジーたちに蟻虫の駆虫薬を与えました。
- 21 チンパンジーのチェリーちゃんは妊娠していますが、最近めっきり弱くなり丈夫な赤ちゃんを生むことが危ぶまれています。
- 22 暖房室に入れていたみずおとおかげとおおしたとかげを皆さんに見ていただけるように出してやりました。
- 24 気温が急激に高くなりましたので、南極産のヒゲペンギンやキングペンギンなどを大急ぎで冷房室の方に移してやりました。
- 25 中華民国の台北動物園からきょうん夫婦が天王寺動物園開園50周年を記念して贈られてきました。サイクスざるに赤

- ちゃんが生れましたが授乳をうまくさせなかったのでおいしいことに死んでしまいました。
- 26 チンパンジーのチェリーちゃんの症状が悪化してきましたので、徹夜で看病しましたが27日に死亡しました。
- 28 ぶたおざる、あしかが死産しました。
- 30 てながの仔のクリちゃんが、かぜひきで弱っていましたが治療してやりますとすっかり元気になりました。ヨーロッパこうのとりひなが、1羽ふ化しました。続いて2コも嘴あげしています。

ペットを訪ねて

奈良市山陵町754

上村 淳さん

奈良平城の里は、今も昔そのまゝの自然の美しさと静けさを湛えている。広々としたタンポの中で、のどかな「ひばり」の声を聞き乍ら鋤を振るう農夫たちの姿が見られる。

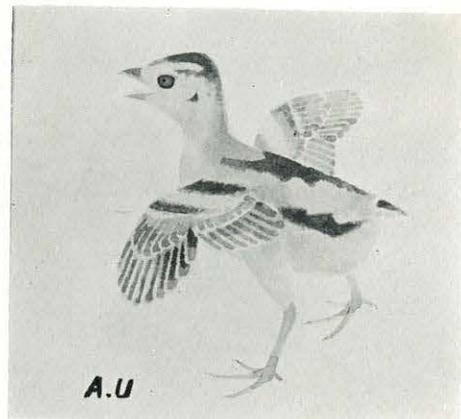
今日は、日本画家で飼鳥家でもある上村さんをお訪ねした。

上村さんは三代続きの日本画家の家柄でおばあさんは美人画で有名な松園さん、お父さんは花鳥画の松篁さん、ご自身も花鳥画を専門に京都美大で教鞭をとっておられる方です。先日、京都美術館で開かれた新制作派展でも「月と鳥」が入選、明快で明るい筆致は会場を圧倒していた。

雑木林や竹やぶに囲まれた3000平方メートルに及ぶ広い庭には、草花が咲き乱れ、紅梅や白い花をつけた「コブシ」などが咲いていてほんとに閑静なお住いです。

こゝには、今、カンムリヅルやオシドリ、バンを始め、コシジロヤマドリ、ハッカク、オナガ、カケイ、サンケイなどのきじ類、メジロ、ホホジロ、カケス、ウグイスなどの野鳥に至るまで、およそ80種、280点の鳥たちが飼われています。この様なすばらしい自然環境なので、四季折々にここを訪れる小鳥たちも多く、フクロウ、ホホジロ、ミソサザイ、シジューガラなどが、かわるがわる姿を見せ、時には、きつねや野生のきじが喧嘩をしに来るそうです。咲翁荘と名付けられたこの家の玄関にはこれは又珍しい「かつこう」が飼われていました。この「かつこう」も闖入者とのことで、3カ月前から飼っているとの事でした。

「父が動物好きで、京都御所の近くにあった自宅には鳥をたくさん飼っていたが、その鳥たちの世話するのが少年時代の私の日課でした。それが今から5～6年前、もらったキンケイの卵を孵したのが動機で、それから稀種の鳥たちを飼い始め、今ではニジキジ、カラヤマドリ、ボルネオキジ、白



カット 上村 淳

孔雀などから、ホホジロやオシドリのふ化も手掛ける様になりました」。勿論、すべて画材となる訳で「生物はやはり、自分で飼ってその習性を知らなければ絵にならないし、飛んでいる絵を画く場合、何時も見ていないと画けません。それに本の絵には不自然のものが多くあるので」と話される。だから、自然の美の再現には最大の努力を払われる。事実、筆の方がカラーフィルムより正確に彩ることが出来る由。併し、ニジキジの様なあの艶やかさは仲々難しいとの事でした。朝早くから鳥たちの世話が始まる。週の内、何日かは京都美大へ行かれる上村さんは、筆を走らせるのは主に夜間になる。それがためメジロの禽舎には蛍光灯まで設けられていました。

毎年、春になると、いろいろな卵をふ化するのも楽しみの一つ。今年はオシドリやコシジロヤマドリなどのふ化困難なものを目差している。又、鳥たちの習性だけでなく、その自然環境を知らなければ正しい絵は画けないので外国の鳥を画くために今年はセイロンまで絵筆の行脚に出かけると張切っておられました。

先程から降り出した春雨の中で、庭に放たれた孔雀が数羽、屋根のバラの芽を盛んについばんでいました。(中川 道朗)

「しあわせを運ぶ鳥、

ヨーロッパこうのとりおめでた

巣をかけている柱のそばのポプラの新芽も黄から緑に衣替える5月、バードウィークには11日早い4月30日にまず一羽うぶ声をあげました。大きさはヒヨコぐらい、ねずみ色のうぶ毛におおわれピーピーとかわいい声をあげています。

親鳥は36年のクリスマスにオランダの動物園からおこし入れした7才のオスとメス。3月末に巣造りをはじめ5月1日に1個、4日に1個、6日に2個の産卵し、オス、メス交代で卵を抱いていましたが、そのうちのまず1個が誕生したものです。

ヨーロッパこうのとりは「赤ちゃんを運んでくる鳥」「幸福を運んでくる鳥」として童話などでおなじみですが、一昨年に2羽、昨年に2羽と赤ちゃんを育て本年もまたうれしい誕生を知らせるこの夫妻は、まさに童話を地でいってるわけです。

ヨーロッパこうのとりは、おもにヨーロッパ各国や北アフリカに野生し、日本のコウノトリの口ばしが黒いのに対して赤いことから朱嘴鶴(しゅばしこう)と呼ばれます。

特別天然記念物の日本のコウノトリが絶滅寸前であるのに対して、ヨーロッパこうのとりは全国の動物園で飼育されていますが、野生だけに人工施設のなかでの繁殖がむずかしく、本園だけが毎年繁殖に成功しています。

えさは、たにし、ザリガニ、どじょうなどですが、生きたものしか食べないために、一般の人の好意に甘えたり、係員がたまやバケツ片手のザリガニとりが始ります。

本稿がお手元に渡るところには残りの卵もかえり、かわいい合唱が聞けるものと期待しています。(グラフの写真をご覧下さい)

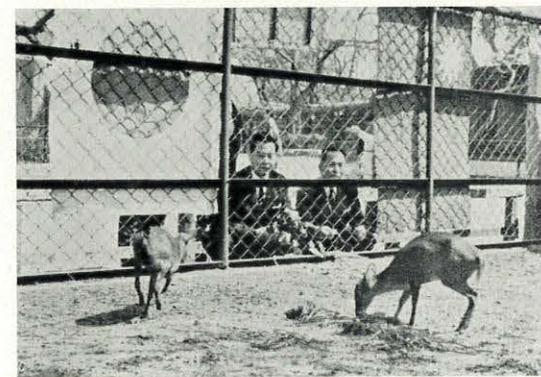
7年振り「キョン」夫妻お目見得

このキョン夫妻は本園の開園50周年を祝して、台湾の台北市立動物園から贈られたもので、4月8日伊丹空港につき、その後2週間の検疫を終え、4月26日天王寺動物園の「新顔」として入園。早速お客様に得意の跳躍振りを披露し、かっさいをあびています。

キョンは台湾の森林にだけすみ、体長50cm体高30cmほどの可愛らしいシカの仲間です。暗黄褐色の体色にぬれたようなつややかな光沢があり、オスの上アゴの犬歯が

動物園ニュース

のびて牙となっているのが特徴です。性質はおとなしく主に草や葉を食べています。鼻のつけねにある二つのくぼみがちようど目のようにみえるため「よつめじか」とも呼ばれます。



鼓笛隊の演奏で

’66春の動物園まつり 幕あき

「クワイ河マーチ」や「あしたのある歌」など東住吉区田辺連合子ども会の鼓笛隊が得意のレパートリーを5月の空にひびかせ恒例の春の動物園まつりの開幕をげんぱんじーのキャンディちゃんも「迷演技」のご披露におよび家族連れやメーデー帰りの人などに拍手をあびました。

またこの日から北園ペンギン山で大阪ガスから贈られた特大の「こいのぼり」が青空高く泳ぎはじめ、よい子たちも「デッカイこいのぼりだなあー」と感心しきりでした。

まつりは月末まで民謡大会や歌謡ショー動物クイズなど盛りだくさんな催し物をくりひろげます。

